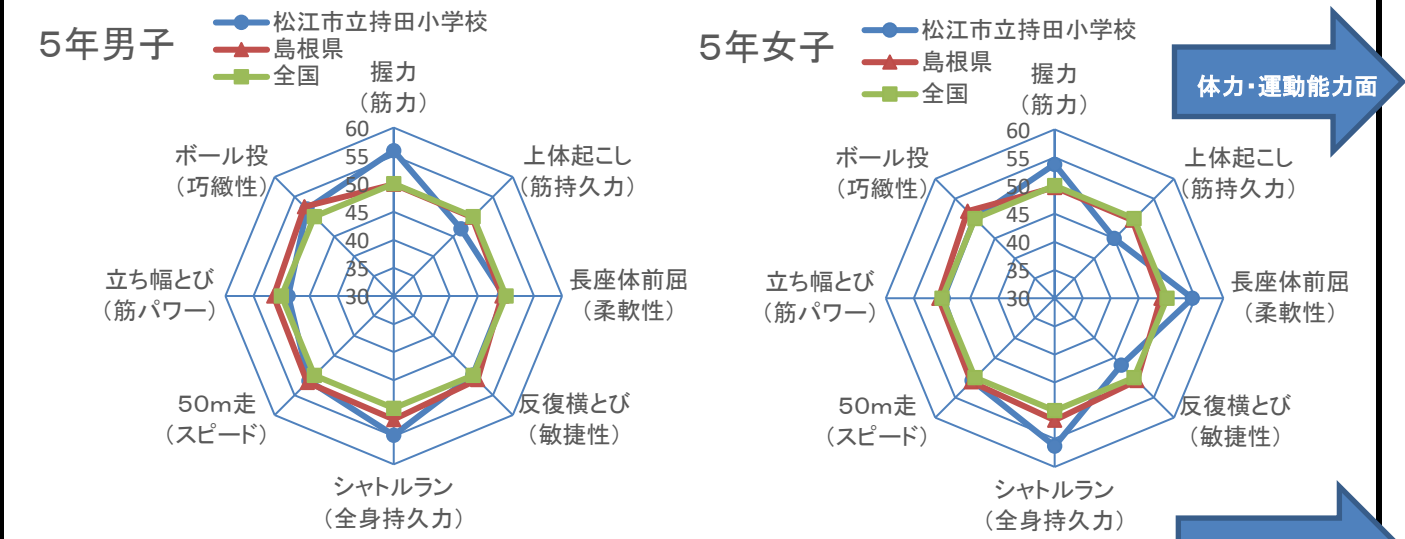
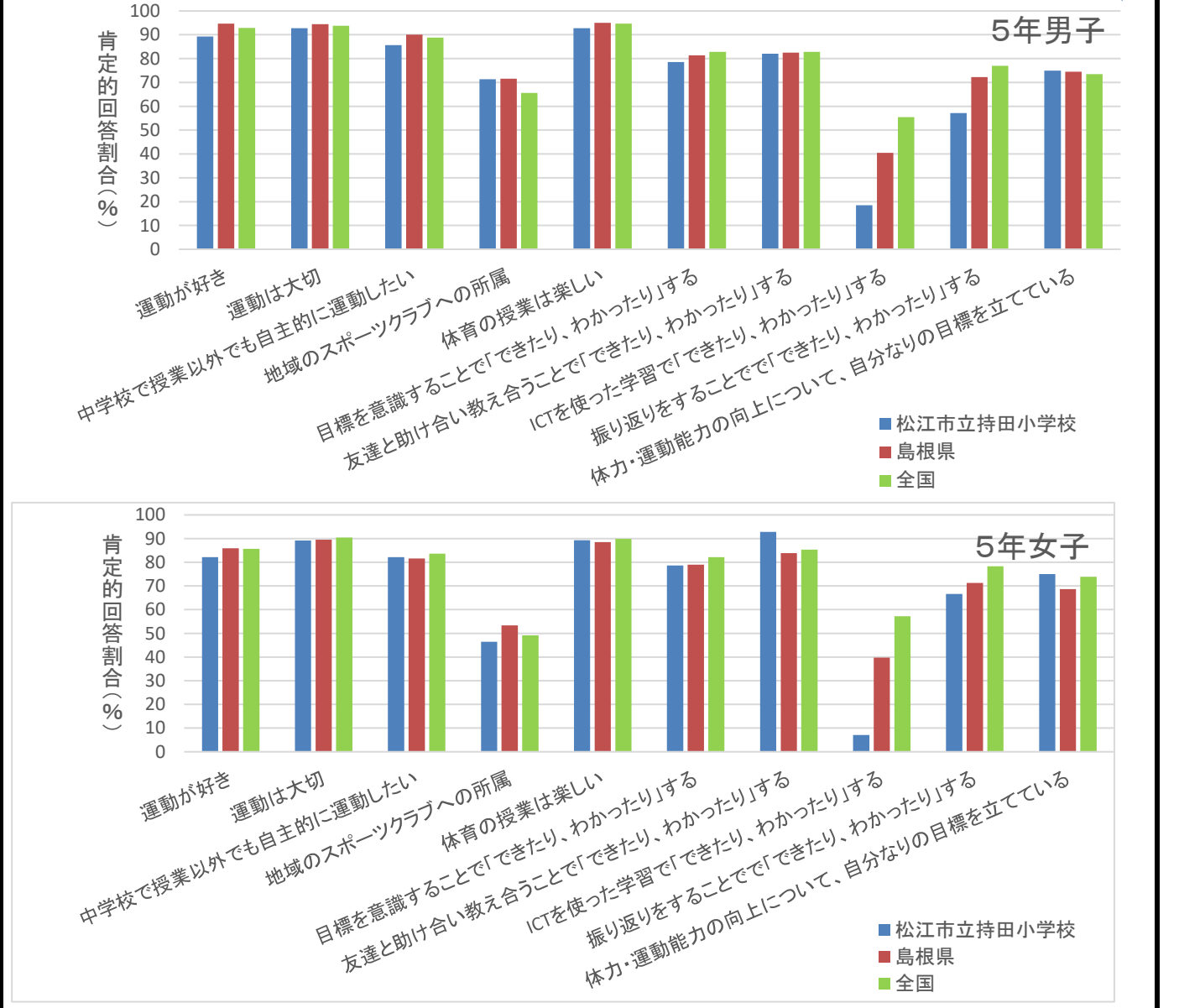


(1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	5.9	-3.1	-0.3	-0.1	4.8	1.4	-1.2	1.9
女子	3.8	-5.0	4.5	-3.2	6.3	0.7	-0.2	0.1

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する
男子	-3.6	-1.0	-3.1	5.8	-1.9	-4.2	-0.7	-37.0
女子	-3.5	-1.2	-1.4	-2.8	-0.6	-3.6	7.5	-50.1
	振り返りをする中で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている						
男子	-19.9	1.5						
女子	-11.7	1.1						

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和6年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育科の授業に関する校内研修会等の計画
- ・校内研修等で、各学年での運動・運動遊びを紹介し合う。
 - ・今年度、課題として取り上げた「上体起こし」「立ち幅とび」に加え、全ての学年で県平均を下回る「ソフトボール投げ」についても取り上げ、投げる技能につながるような運動・遊びを共有し、向上を図る。
- ② 体育・保健体育授業の工夫・改善
- ・体力・運動能力調査の結果や児童へのアンケートを基に、持田小の運動課題を確認することで、継続して取り組むべき運動例や各学年、他校の実践を共有し、授業に取り入れる。
 - ・ICT機器の活用を検討する。
 - ・教員や児童の動作を見せることだけでなく、実態に応じて、様々な映像やコツなどを得られるようにする。また、児童同士で動画を撮影し、見せ合うなど、自身の動きを客観的に見て向上につなげられるような手立てを取り入れていきたい。
- ③ 体育授業以外の活動(学校ぐるみの取組や全校活動、環境の工夫等)
- ・「なわとび集会」や「ドッジボール大会」など、今年度実施した活動を継続していく。
 - ・体力調査の県平均や校内の傾向等を基に、スポーツ委員会を中心とした活動を検討する。
 - ・本校の課題となっている種目を向上させられるような活動や運動の得意・不得意、学年を問わずに前向き取り組めるような活動を行う。